八戸市の復興状況について

「より強い
より元気な
より美しい八戸」
の実現を目指して

東日本大震災／八戸市の被害

◆ 人的被害(市内)

(平成24年12月31日時点)

死者１名、行方不明者１名、負傷者70名(重傷18名／軽傷52名)

※上記負傷者数には4月7日余震による負傷者(重傷４名／ 軽傷１名)を含む。

※岩手県内(大槌町、宮古市、大船渡市)での被災者　⇒死者４名、行方不明者１名

◆ 被害総額　⇒　約1,213億円

①沿岸部を中心に多くの住宅被害　　②八戸港の物流拠点機能の麻痺

③八戸漁港の生産･流通機能の麻痺　④臨海部立地企業群の生産活動停止

⑤いちご産地である市川地区を中心に、農地や栽培施設の被害

震災翌日/(主)八戸百石線(於:河原木)

･商工関係（臨海部の企業群等）	567億円
･建設関係（八太郎北防波堤ほか港湾施設等）	413億円
･水産関係（漁船、魚市場施設等）	168億円
･建物被害（家屋等）	28億円
･農林関係（水田、いちご栽培用パイプハウス等）	15億円
･その他	22億円

◆ 半壊以上の家屋被害　⇒　2,024棟

うち住家被害　878棟(全壊/254棟、大規模半壊/147棟･半壊/477棟)

八戸市復興計画／計画概要(H23.9.26策定)

- **理念**
  - ・現在の市民のみならず将来の市民のためのもの
  - ・原状復旧にとどまらず現代課題にも対応した新たなまちづくりの推進
  - ・早期の復旧と創造的な復興を目指す
- **目指す姿 「より強い、より元気な、より美しい八戸」**
- **計画期間 H23～H32（10か年）**

復旧期<H23～24：2年>⇒再生期<H25～H27：3年>⇒創造期<H28～H32：5年>

- **４つのまちづくりの目標**
  - ① 安全・安心な暮らしの確保
  - ② 大震災をバネにした地域活力の創出
  - ③ 北東北における八戸市の拠点性の向上
  - ④ 災害に強いまちづくりの実現

４つの基本方向に基づく復興施策

被災者の生活再建 | 地域経済の再興 | 都市基盤の再建 | 防災力の強化

創造的復興プロジェクト

1．津波防災まちづくりプロジェクト
2．災害時安全安心プロジェクト
3．水産拠点化推進プロジェクト
4．農業復興プロジェクト
5．八戸港活用産業活性化プロジェクト
6．エネルギー・環境産業プロジェクト
7．「三陸復興国立公園」プロジェクト
8．文化・スポーツ振興プロジェクト

公共インフラ等の復旧・復興状況

1	公営住宅等への一時入居者（市内被災者分）	当初入居先 ⇒ 市営住宅、県営住宅、国家公務員宿舎、雇用促進住宅 入居者数 最大(H23.4末) ⇒ 392人、140世帯 現在(H28.3末) ⇒ 0人(H26.3末で市内被災者に対する一時入居措置が終了。県外被災者は継続)
2	災害公営住宅	H25.3完成 ⇒ 白山台12戸、多賀台26戸、新井田道17戸 H25.4完成 ⇒ 白銀いかずち7戸 合計62戸建設
3	市内災害廃棄物	H25.3.26 災害廃棄物15.8万トンの処理を全て完了 （セメント原料化、ケーソン中詰材、路盤材など60.1%をリサイクル処理） H26.3.31 仮置き場の復旧完了
4	漁港施設	・八戸漁港 ⇒ H24.8復旧完了 ・第１種漁港（白浜、深久保、種差、大久喜、金浜） ⇒ H24.11復旧完了
5	魚市場	・第一～第三魚市場 ⇒ H24.3復旧完了 ・ハサップ対応荷捌き所Ａ棟 ⇒ H24.9災害復旧工事完了(災害復旧額11億円)
6	漁船	・被災漁船 318隻 ⇒ 復旧済 213隻（H27.1時点）
7	農地／園芸用ビニールハウス	・農地（水田、畑等） 被災面積53.4ha ⇒ 復旧率100%（H24.7.31時点） ・園芸用ビニールハウス 被災面積227.7アール ⇒ 復旧率８６.７%（H26.3.31時点）
8	港湾施設	H25.9 八太郎北防波堤の災害復旧工事の完了により、八戸港における全ての港湾施設の災害復旧事業が完了(災害復旧額319億円)
9	その他公共施設	し尿処理施設（広域 八戸環境クリーンセンター） ⇒ H24.9完全復旧(災害復旧額12億円)

復興への取組／被災者の生活再建

主な再建支援策(数値はH29.4末時点/赤字・下線は完了事業)

1 生活再建支援

①災害見舞金の給付（～5次配分/～H25.3月） 610,059千円(875件)
②青森県等義援金の給付(～H26.10月) 1,532,681千円 (873件)
③地域集会所への災害復旧支援金(3施設/H23年度) 1,177千円 (3件)
④生活必需品の給付(他県からの避難者への給付含む/H23年度) 25,749千円(1,044件)災害救助法
⑤被災者生活再建支援金の給付(H30.4.10迄受付) 781,995千円(873件)被災者生活再建支援法
⑥災害援護資金の貸付(H30.3.31迄受付) 91,100千円(41件)災害弔慰金の支給等に関する法律

2 住宅再建支援

①住宅応急修理(～H23.8.10) 107,884千円(233件)災害救助法
②安全安心住宅リフォーム促進事業(H24～25年度) 17,340千円 (105件)
③被災者生活再建支援金の給付(再掲/上記1のとおり)
④被災者住宅再建支援事業補助金 59,000千円(59件)
⑤被災者住宅再建支援制度利子補給補助金 63,313千円(104件)
⑥被災者定着促進事業（H25.7月～）
・住宅再建補助金 327,388千円(104件)
・賃貸住宅定住補助金 7,240千円(51件)
⑦災害公営住宅家賃対策事業(東日本大震災復興交付金事業)（H25.4月～）

復興への取組／災害公営住宅の建設

➢ 震災により住宅を失った被災者の住宅確保を支援するため災害公営住宅を建設

◆平成25年3月完成

地区	戸数
白山台	12戸
多賀台	26戸
新井田道	17戸

◆平成25年4月完成

地区	戸数
白銀いかずち	7戸

合計62戸建設

◆総事業費

白山台用地購入(基幹事業)　132,108千円(H23)
本棟･集会所建設(基幹事業)　1,043,954千円(H24～H25)
駐車場整備(効果促進事業)　10,549千円(H24～H25)

▼白山台災害公営住宅

▼多賀台災害公営住宅

▼新井田道災害公営住宅

▼白銀いかずち災害公営住宅

復興への取組／市内災害廃棄物処理

- **災害廃棄物（市内分）の処理**
  - ⇒ **H25.3.26で災害廃棄物15.8万トンの処理を全て完了**
  - ⇒ **可能な限りリサイクル処理を推進（リサイクル率60.1%）**
  - ⇒ **H26.3.31　仮置場の原状回復完了**

※総事業費(H22～25年度) 55億3,790万円

再生利用の状況（八戸港）

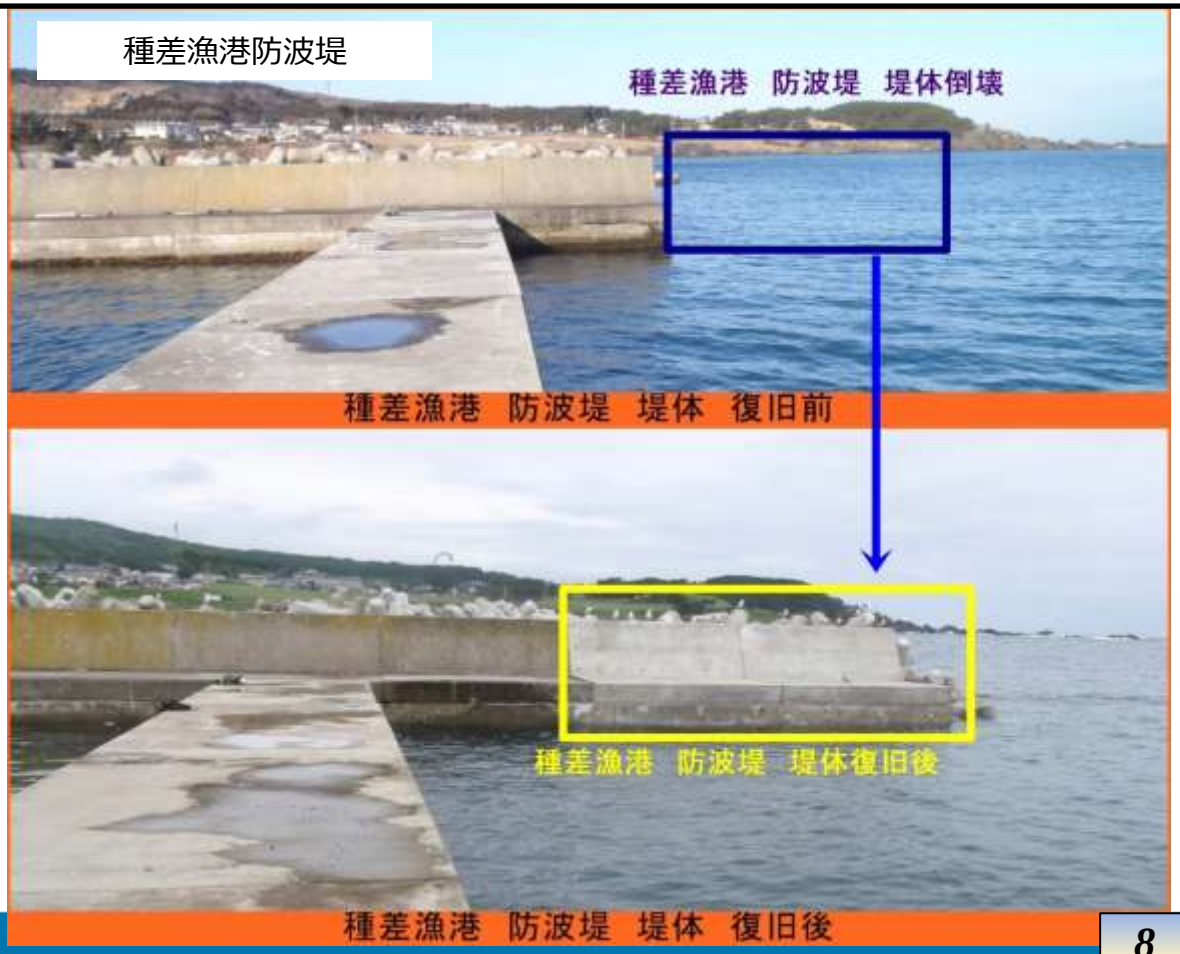
津波堆積物の土砂を振いにかけ、ゴミと選別して、国土交通省の防波堤のケーソンの中詰材として再利用

災害廃棄物の種類		リサイクル方法
①可燃物系	可燃ごみ	焼却灰などのセメント原料化・スラグ化※
	木くず	スラグ化・堆肥化など
	そのほか（飼料、でんぷんなど）	堆肥化・スラグ化など
②不燃物系	金属くずなど	金属としての再利用
	コンクリートがら	道路の路盤材
③津波堆積物・その他		セメント原料化、防波堤の中詰材、最終処分場の覆土材など

※スラグ：溶融施設で廃棄物を溶かした時に発生する残渣物。路盤材などに使用

復興への取組／漁港施設の復旧

- **八戸漁港**
  - ⇒ **防波堤の倒壊・破損・沈下、岸壁・用地舗装の破損、航路・泊地の埋塞等の被害／平成24年８月に復旧完了**
- **第1種漁港（白浜、深久保、種差、大久喜、金浜）**
  - ⇒ **防波堤・護岸の破損、泊地の埋塞等の被害／平成24年11月までに復旧完了**



復興への取組／魚市場・漁船の再興

➢ 魚市場

・第一から第三魚市場

⇒H24年３月までに復旧完了

H25年6月、第一魚市場テント上屋設置工事完成

・ハサップ対応荷捌き所Ａ棟

⇒H24年9月、災害復旧工事完了。稼動開始（H24.10.10～）へ

A棟全景

竣工式24.10.10

稼働開始

➢ 漁船の復旧

・被災漁船　318隻

⇒復旧済／213隻（H27.1時点）

・漁船漁業復興事業(補助事業)

⇒漁協等が事業主体となり、被害を受けた漁業者が共同で利用する漁船24隻の取得・定置網漁具取得を支援

遠洋底曳き網漁船

中型いか釣漁船

復興への取組／農林業の再興

- **農用地の除塩工事**
  ⇒ 津波により土壌中の塩分濃度が上昇した農用地の除塩を実施
  （市川地区／32.6ha／H23年11月～H24年5月下旬、工事完了）

- **被災園芸施設復旧に対する支援**
  ⇒ 津波被害により倒壊したハウス、流失した資機材等を導入する場合に、補助金交付による支援を実施　（国1/2、市1/8）

- **海岸防災林**
  ⇒ 津波により流出した森林と枯渇した森林の復旧に向け、防災林造成事業（植栽、静砂工）を実施（12.88ha／H28年12月完了）

- **農地等の復旧状況**　農地：H24年7月31日時点
  園芸用ﾋﾞﾆｰﾙﾊｳｽ：H26年3月31日時点

	被災面積	復旧面積	復旧率
農地（水田、畑等）	53.4ha	53.4ha	100%
園芸用ビニールハウス	227.7ｱｰﾙ	197.5ｱｰﾙ	86.7%

海岸防災林造成事業

八戸いちご　販売

復興への取組／八戸港(港湾)の復旧

被害総額：約394億円

【コンテナターミナル】
■ターミナル施設損傷、コンテナ流出
○H23年4月 ガントリークレーン２号機が稼働再開
○5月 リーファープラグ10基稼働再開
○7月 リーファープラグ50基稼働再開
○H24年2月 ガントリークレーン１号機が稼働再開
○5月 受変電設備、管理棟、検査棟の復旧工事を開始
○6月 埠頭用地陥没部分の補修、拡張工事完了
○8月 受変電設備が復旧し、暫定受電から本格受電に移行
リーファープラグ62基稼働再開
○10月 管理棟、検査棟復旧工事完了

【八太郎北防波堤】
■中央部・ハネ部のケーソン倒壊（中央部60函、ハネ部44函）
○H23年6月 中央部への消波ブロック据付を開始
○9月 ハネ部への消波ブロック移設を開始
○11月 中央部の消波ブロック据付を完了／倒壊したケーソンの撤去を開始／新設ケーソンの製作を開始
○H24年2月 ハネ部の消波ブロック移設完了
○4月 中央部への新設ケーソンの据付作業を開始
○10月 中央部へのケーソン全41函据付完了
○11月 ハネ部ケーソン35函据付開始
○H25年3月 ハネ部へのケーソン全35函据付完了
○**9月 復旧工事完了**

【航路・泊地】
■自動車、小型船、コンテナ等が流出・水没、土砂堆積、津波による洗掘
○H23年3月 震災直後 水深調査・海底支障物調査、海底支障物撤去作業を開始
○6月 支障物撤去完了
○12月 洗掘箇所の埋戻を開始
○H24年1月 堆積土砂の浚渫を開始
○10月 八太郎地区-13m泊地の浚渫完了
○H25年1月 八太郎地区-7.5m泊地(ﾌｪﾘｰ埠頭前面)浚渫完了
○3月 河原木地区-7.5m泊地（石油基地前面）浚渫完了
河原木地区-14m航路・泊地浚渫完了
○6月 八太郎地区-12～-13m航路・泊地浚渫完了

【埠頭用地】
■埠頭用地が陥没、排水処理施設が損傷
○H23年8月～11月 埠頭用地の空洞化調査
○H24年5月 河原木2号埠頭排水処理施設の復旧完了
○6月 八太郎Ｄ、Ｅ岸壁埠頭用地の舗装復旧工事開始
○10月 八太郎Ｄ、Ｅ岸壁埠頭用地の舗装復旧工事完了

［河原木地区廃棄物埋立護岸（ポートアイランド）］
■護岸倒壊
ケーソン３函、上部工、基礎工等
○H23年11月 復旧工事開始
○H24年9月 ケーソン据付完了
○H25年2月 護岸工事完了
○3月 護岸裏埋立完了

［白銀北防波堤・西防波堤］
■白銀北防波堤ケーソン1函倒壊、上部工、基礎工等
○H23年11月 白銀北防波堤復旧工事開始
○H24年8月 白銀北防波堤復旧工事完成
○11月 白銀西防波堤復旧工事開始
○H25年3月 白銀西防波堤復旧工事完了

復興への取組／企業活動の再興

- 中小企業等グループ施設等復旧整備補助事業による復旧支援
  - ⇒ 復興のリード役となり得る「地域経済の中核」を形成する中小企業等グループが復興事業計画を作成し、県の認定を受けた場合に、施設・設備の復旧・整備を支援
  - ⇒ H23年6月、10月
    水産業グループ等**10グループへ総額86億円の補助金**の交付が決定
- 県経営安定化サポート資金（中小企業災害復旧枠）の融資
  - ⇒ **159億7,700万円（八戸管内 515件）**※H24年3月末で受付終了
  - ⇒ 上記融資にかかる利子補給・保証料補助を実施（県80%、市20%）
- (独)中小企業基盤整備機構による仮設施設整備事業(事業費約4.3億円)
  - ⇒ 整備戸数(事務所・倉庫)：**19棟（18事業者入居）**
  - ⇒ 中小機構から市が無償で建物を借受け、市から入居者へ無償で転貸後、順次譲渡
- 復興推進計画の認定・推進

青森県復興推進計画(あおもり生業づくり復興特区)
⇒ H24年3月2日／青森第1号

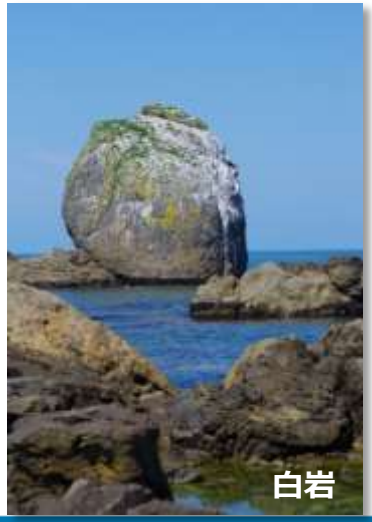
八戸市復興推進計画(利子補給を内容とする計画)
⇒ H24年10月12日／青森第　3号（マルヨ水産株式会社）
H26年　6月27日／青森第　5号（八戸セメント株式会社）
H27年　6月30日／青森第　6号（北日本造船株式会社）
H28年　6月30日／青森第　8号（多摩川精機株式会社）
H29年　1月31日／青森第　9号（八戸通運株式会社）
H29年　1月31日／青森第10号（株式会社ユニバース）

復興への取組／三陸復興国立公園

平成25年５月24日、陸中海岸国立公園に「種差海岸」と「階上岳」が編入され、新たに「三陸復興国立公園」として指定

- 「種差海岸、階上海岸及び階上岳」＋「陸中海岸国立公園」
  （平成27年3月「南三陸金華山国定公園」を編入）
- 八戸市から宮城県石巻市まで/太平洋岸総延長約250キロ

平成26年７月12日オープン　◆来館者数(累計)：489,511人(H29.4月末現在)



復興への取組／みちのく潮風トレイル

みちのく
潮風トレイル
Michinoku Coastal Trail

総距離約700km
自然・歴史・文化にふれあう道

蕪島

鵜の巣断崖

浄土ヶ浜

碁石海岸

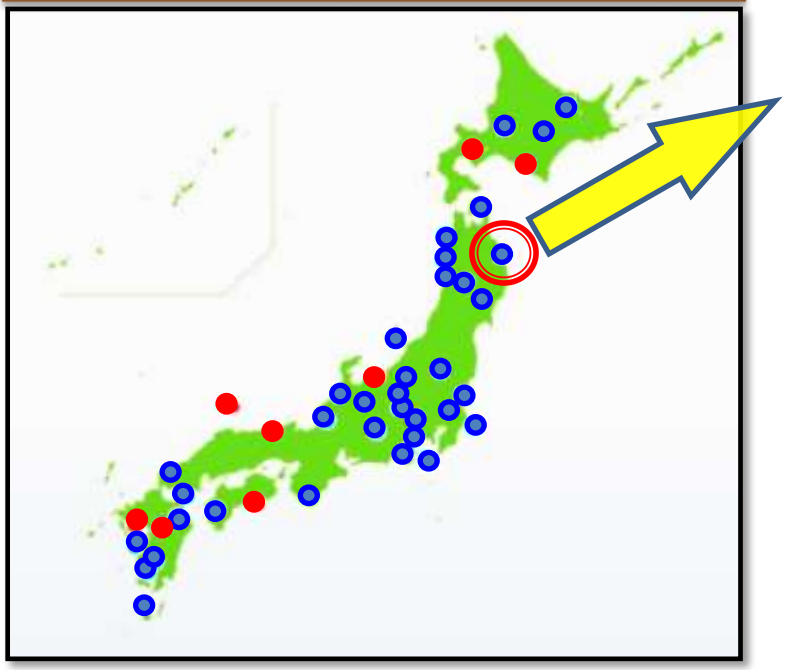
松島

平成25年11月29日
八戸市(蕪島)～久慈市小袖　100㎞開通
平成26年10月9日
福島県相馬市～新地町福田　48.5㎞開通
平成27年7月22日
岩泉町小本～宮古市浄土ヶ浜　51㎞開通
平成27年8月3日
野田村野田～普代村普代浜　24㎞開通
平成27年9月14日
釜石市～大船渡市　144㎞開通
平成29年1月22日
普代村南部～田野畑村　34㎞開通
平成29年4月13日
石巻市(石巻港)～宮城県女川町(雄勝峠)　70㎞開通

トレイルコース：鮫駅～大久喜駅
1.鮫駅、2.蕪島、3.水産科学館マリエント、4.西宮神社、
5.浜小屋群、6.鮫角、7.葦毛崎展望台、8.中須賀、9.大須賀、
10.田村崎、11.白岩、12.淀の松原入口、13.仙人窟、
14.地獄穴、15.種差天然芝生地、16.種差海岸駅、
17.高岩展望台、18.大久喜駅、19.浜小屋、20.塩釜神社

復興への取組／三陸ジオパーク

日本ジオパーク(43地域/28.9現在)



平成25年9月24日
三陸ジオパーク(青森・岩手・宮城の3県16市町村)が日本ジオパークに認定

ジオパークとは

美しい自然景観や学術的価値を持つ地層から、その土地や地球の成り立ちを知り、それらと私たちとの関わりを楽しく正しく学び、感じることができる自然公園

白岩

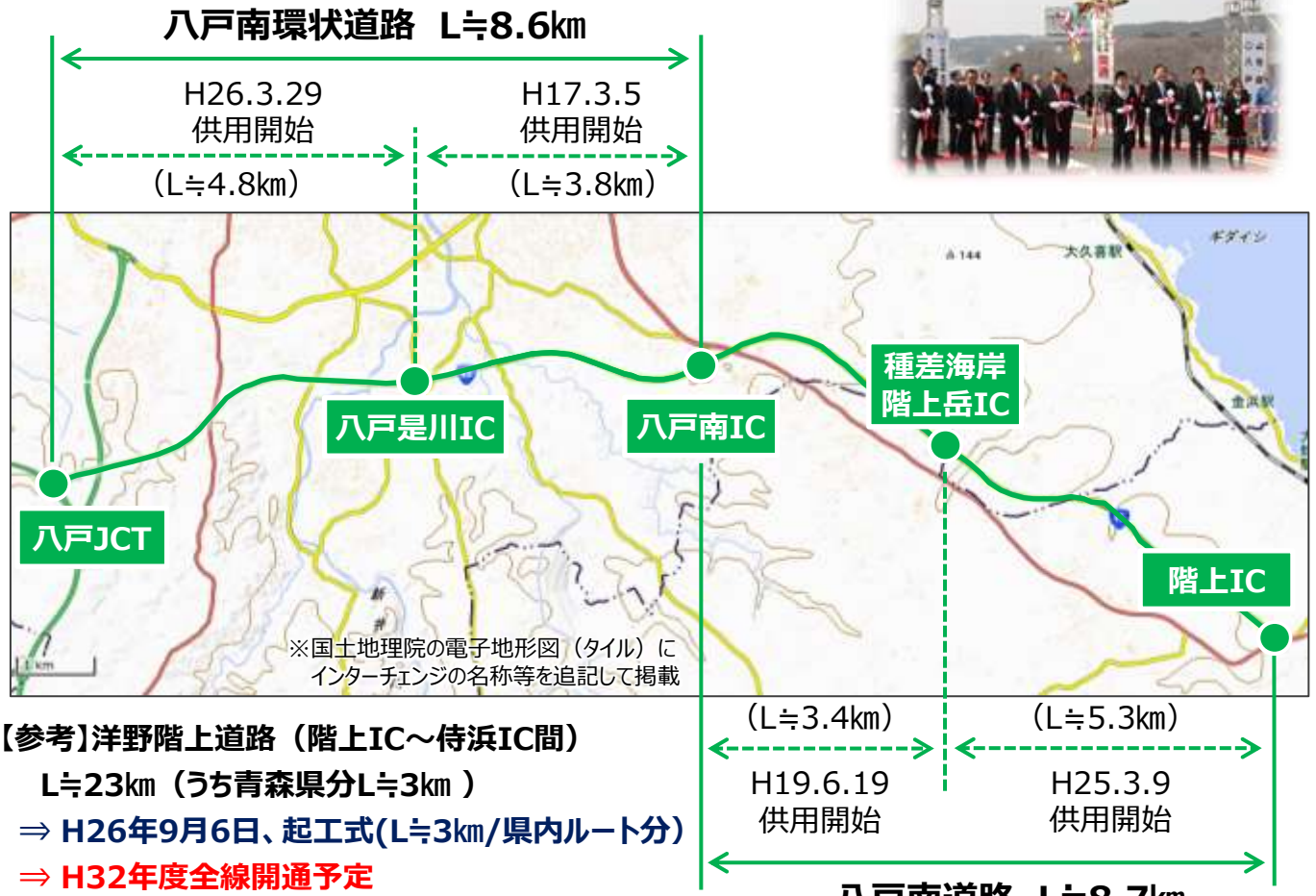
ジオサイト(八戸市)	ジオポイント
蕪島	蕪島
種差海岸	枕状溶岩、イタコマイマイ岩、鳴砂、白岩、種差天然芝地、淀の松原
是川遺跡	是川遺跡
	島守盆地
	青葉湖
	不習岳

復興への取組／復興道路の整備

出典：国土交通省東北地方整備局ＨＰ

東日本大震災を契機として、八戸･久慈自動車道(約50㎞)を含む三陸沿岸道路(359㎞)が「復興道路」として位置付けられ、平成23年度に全線が事業化

- 八戸･久慈自動車道は、H32年度に全線開通予定
- 三陸沿岸道路の約９割がH32年度までに開通予定



【参考】洋野階上道路（階上IC～侍浜IC間）

L≒23㎞（うち青森県分L≒3㎞ ）

⇒ H26年9月6日、起工式(L≒3㎞/県内ルート分)

⇒ H32年度全線開通予定

復興への取組／防災体制の強化

➢ 防災体制の強化

・災害協定の締結推進⇒災害ごみ収集、災害情報放送など震災以降、新たに25協定締結
・防災行政無線⇒102箇所を復旧、更に21箇所増設。H25年度11基(繰越)、H26年度８基、H28年度1基増設。(全143基)
・市内公民館（ポータブルガス発電機配備の26箇所）⇒照明器具、暖房器具、トランシーバー配備（H25年3月）
・可搬型無線機⇒避難所（80箇所）へ配備（H25年２月）
・市内全小・中学校⇒非常用発電機を配備（H25年３月）
・津波避難ハンドブック⇒全戸配布（H25年3月）
・防災倉庫新設⇒西部:尻内町字毛合清水地内、東部:湊高台地内（H26年3月末）
・津波避難ビル：震災前２施設⇒全27施設（H29年３月現在）
・八戸市津波避難計画改定（H27年2月）⇒避難計画図を避難対象地域全戸配付(H27年3月)

災害情報協定締結式

➢ 災害に強い地域づくりの推進

・自主防災組織の設立状況

	震災前	現在
	H23.2月末	H29.4月
組織数	71団体	78団体
組織率	64.9%	83.6%

※組織化率　全国：81.7%（H28.4月現在）、青森県：46.5%（H28.4月現在）

地域の防災訓練の様子

・自主防災組織育成事業補助金
・自主防災組織活動支援助成金（H29年度新規）

復興への取組／震災の教訓を次世代へ

八戸市総合防災訓練(湊地区での様子)

青森震災アーカイブHPの運用(H26.4.1～)

記録誌「東日本大震災八戸市の記録」（H25.3発行）

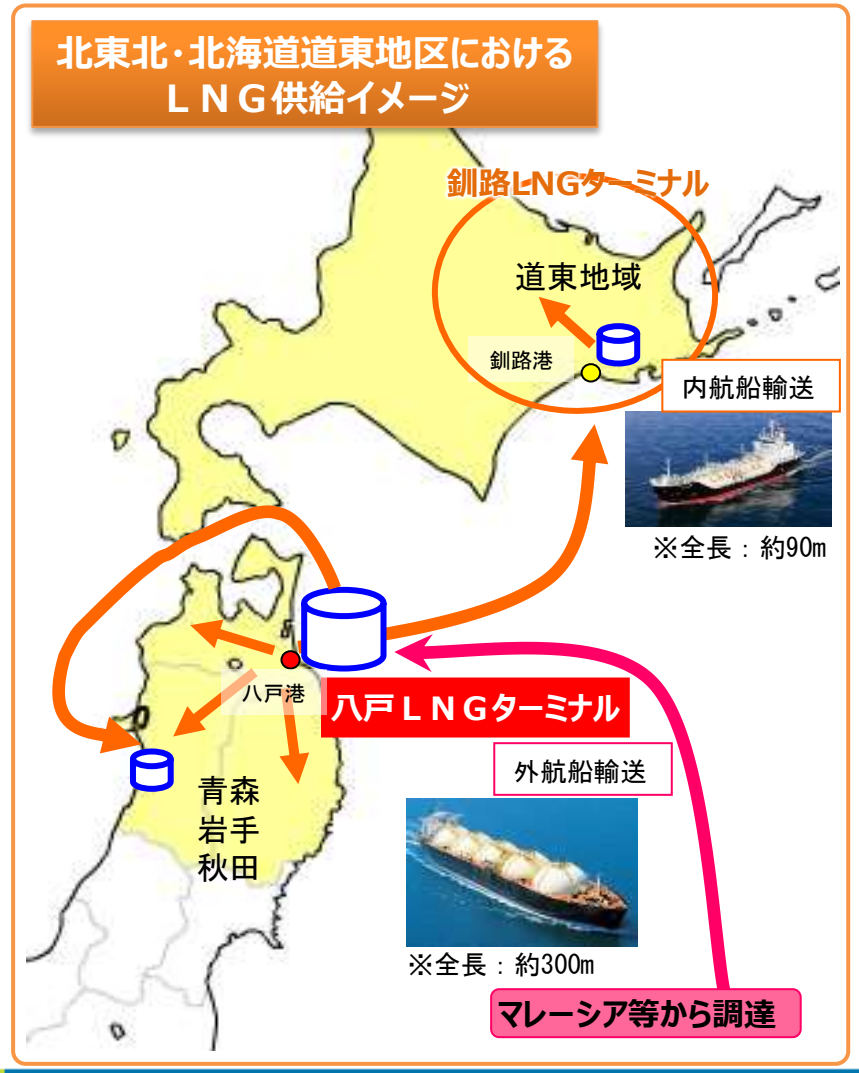
全戸配付した津波避難ハンドブック（H25.3配付）

避難対象地域に全戸配付した津波避難計画図（H27.3配付）

小中学校の児童生徒へ配付した防災ノート（H27.4～配付）

6．復興への取組／4-4八戸LNG輸入基地建設

平成27年４月　八戸LNGターミナル　運転開始



事業主体：ＪＸエルエヌジーサービス株式会社
建設場所：八戸港河原木地区ポートアイランド
主要設備：ＬＮＧタンク　14万KL×2基

八戸市エネルギーシステム転換支援事業補助金

当市では、エネルギー起源の二酸化炭素の排出を抑制するため、石油エネルギーから天然ガス等の環境負荷の低い代替エネルギーへ転換する事業者に対して、補助金を交付しています。

○補助金の内容

要　件：エネルギー起源二酸化炭素排出量の削減率が概ね15%以上、かつ、他の事業者のモデルとなるもの
補助率：１／６以内（上限2,000千円）
対　象：エネルギーシステムの転換に要する機械装置の整備費等

○交付実績

平成25年度…１件、平成26年度…２件、平成27年度…４件
平成28年度…２件

復興への取組／多賀地区津波避難タワー整備

◆整備目的

多賀地区五戸川南側において、津波災害時に浸水区域外（L2）に避難することができない者が被災を免れるための一時避難施設として、津波避難タワーを建設する。

◆施設概要（平成27年9月完成）

①建設地　：市川町字上大谷地45-3地内(敷地面積2,016.02㎡)
②想定収容者数　：80人
③構　造　：鉄骨造(緩衝材設置/避難スペースは冬期避難を考慮し居室タイプ)
④避難階(2階)床面高さ：13.02m（浸水深9.02m+余裕高4.0m）
⑤2階床面積　：175.84㎡（居室80㎡、その他備蓄庫・トイレ・廊下等）
⑥総事業費　：約2億円

竣工式

完成した多賀地区津波避難タワー

復興への取組／多賀多目的運動場整備

◆施設整備の趣旨

・震災の津波による住家被害が市内で最も大きかった多賀地区の活力創出

・管理棟4階部分は、最大クラスの津波からの被災を逃れることを目的とし、かつ日常機能も有する津波避難施設（一時避難施設）として整備

◆施設概要（平成28年10月供用開始）

①建築物　：管理棟兼津波避難施設、メインスタンド など

②屋外施設：球技場(天然芝)、駐車場、多目的グラウンド(人工芝) など

③工作物　：芝生スタンド、電光掲示板 など

天然芝球技場「ダイハツスタジアム」

管理棟
（４階部分を津波避難施設として整備）

・想定避難収容者数　100人程度

・構造　鉄筋コンクリート４階建

・避難階(床面高さ)　4階(約12.45m程度)

オープニングセレモニー

復興への取組／津波防災センター整備

◆整備目的

最大クラスの津波を想定した場合、沼館地区に避難困難地域が発生し、近傍の津波避難ビルのみでは避難困難者を収容しきれないことから、同地区に津波避難施設を整備する。

施設の有効活用を図るため、平常時は防災活動の場として防災に係る研修等に使用する。

◆施設概要（平成29年２月完成）

①建設地　：沼館四丁目6-19（敷地面積3,265.14㎡）
②想定収容者数　：877人
③構　造　：鉄筋コンクリート造3階建て
④避難階(2階)床面高さ：10.96m（浸水深6.96m+余裕高4.0m）
⑤延床面積　：1,496.36㎡（避難スペース877㎡、その他調理室、備蓄庫等）

竣工式

完成した津波防災センター

H29年度主な市の復興事業①

1 被災者の生活再建

◆ 被災者の見守り・健康支援

・災害公営住宅入居世帯等への訪問や電話による健康状態の把握・支援の実施

・庁内関係課による被災者支援の情報交換会の開催

◆ 被災者の住宅再建支援

・被災者定着促進事業

⇒住宅再建補助金（新築、増築または新築住宅・中古住宅の購入費用の補助）

⇒賃貸住宅定住補助金（賃貸住宅(主に公営住宅)への転居費用などの補助）

2 地域経済の再興

◆ 観光誘客活動の推進

・外国人観光客受入推進事業

⇒多言語版観光ガイドマップの作成、外国人旅行者の受入環境整備への補助など

3 都市基盤の再建

◆ 建物の耐震化

・南浜・高岩・是川児童館の耐震補強工事

・三条児童館の改築（用地測量、土地造成設計、旧館解体工事）

H29年度主な市の復興事業②

4 防災力の強化

根城公民館（平成29年4月開館）

館鼻公園旧八戸測候所

◆ 防災体制の強化

・避難所の耐震化
⇒是川公民館の建替、根城公民館の駐車場整備等
⇒福祉避難所（総合福祉会館等）の設備改修

・老朽化した指定避難所標識の更新

・館鼻公園旧八戸測候所の改修
〔（仮称）みなと体験学習施設整備事業〕
⇒防災機能を備えた体験学習施設として整備

◆ 災害に強い地域づくり

・自主防災組織育成事業
⇒自主防災組織育成助成補助金（資機材整備に対する助成）
⇒自主防災組織活動支援助成金（防災活動に対する助成）

・災害時要援護者支援マップシステムの導入
⇒迅速な避難支援を図るため、統合型ＧＩＳと連動したシステムを構築

◆ エネルギー対策の充実

・エネルギーシステム転換支援事業
⇒環境負荷低減のためのエネルギーシステム転換に要する費用を補助

H29年度主な市の復興事業③

復興状況市民見学会

◆ 7月～10月：親子などを対象に計5回開催予定

東日本大震災後、これまでに完了した事業や現在整備を進めている事業の現場など、目に見える形で進む復興の状況を市民に周知し共有することにより、東日本大震災の風化の防止と防災力の強化を図るため、復興状況市民見学会を開催する。

（平成28年度の見学会の様子）

八戸港の乗船見学（親子）

第三魚市場荷捌き所Ａ棟（一般）

伊調馨選手

女子レスリング・オリンピック４連覇
国民栄誉賞受賞

伊調馨選手の祝賀セレモニーの様子
（平成28年9月）

八戸三社大祭

【毎年7月31日～8月4日開催】

約300年の歴史と伝統を誇る、豊作祈願、報恩の祭り。
最大で高さ10mの山車が27台練り歩く。

平成28年11月30日（日本時間：12月1日）
ユネスコ無形文化遺産に登録※

※全国33件の祭礼行事が、「山・鉾・屋台行事」
として、ユネスコ無形文化遺産に登録された